

共同運営部門：がん治療センター

—概要—

がん治療センターの活動の一貫として、「がん治療検討委員会」を開催している。本委員会は、がん治療全般における円滑な治療の遂行及び薬物治療に関して適正な管理を行うことを目的としている。

「がん治療センター」には日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本乳癌学会をはじめ、各領域の悪性疾患治療に関する学会の指導医、専門医、認定医を配している。化学療法、分子標的治療等薬物治療に関する臨床試験に多数参加し、胸腔鏡、腹腔鏡などの低侵襲手術も積極的に行っている。その他、低侵襲治療として原発性および転移性肝がんに対するラジオ波焼灼療法だけでなく、早期乳がんに対してもラジオ波焼灼療法を研究的治療として前方視的臨床試験等に登録し行なっている。

また、各種がんの診断治療においては、治験や全国規模の臨床試験に深く関与しており、エビデンスの構築に貢献している。これらの実績を基盤とし、従来行なわれている進行癌に対する集学的治療に加え、早期癌に対する新たな薬物治療、手術治療等に関しても先進的な診断・治療を積極的に取り入れ、医療の質の向上に貢献している。また診断、治療方針を決定し難い症例を中心にカンサーボードにて多数の診療科専門医をはじめ、多職種による検討を積極的に行っている。血液がんに関しては骨髄移植の再開に向け準備を進めている。

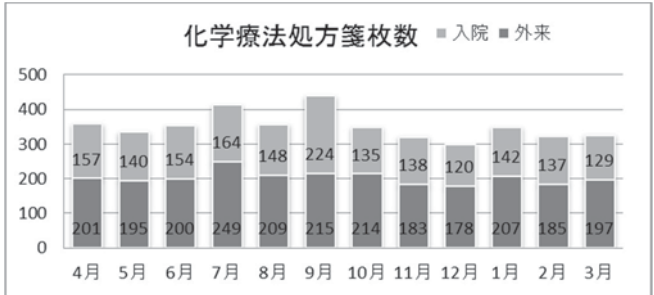
緩和ケアチームでは週一回の病棟回診を行っており、がん性疼痛コントロールや精神的不安等の軽減のための多職種による検討を行ない方針を決定している。

—実績—

薬剤科からの報告

化学療法処方箋枚数

	2014	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015	1月	2月	3月	合計
外来	201	195	200	249	209	215	214	183	178	207	185	197	2,433		
入院	157	140	154	164	148	224	135	138	120	142	137	129	1,788		
総数	358	335	354	413	357	439	349	321	298	349	322	326	4,221		
ミキシング本数	574	509	562	617	544	654	508	485	405	533	491	493	6,375		



外来化学療法件数 (2014年度)

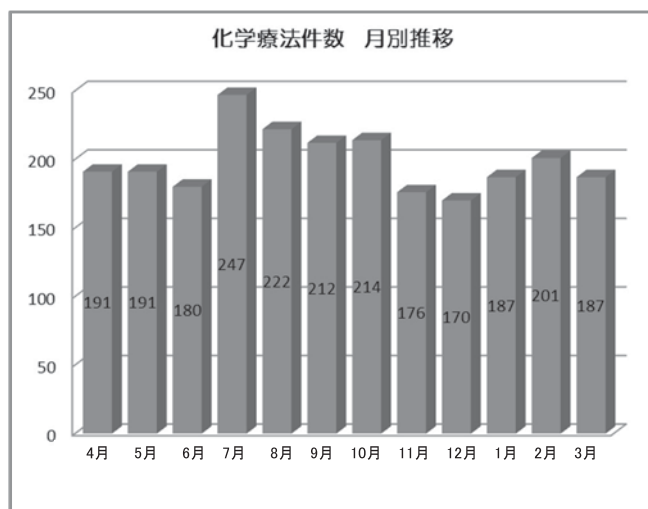
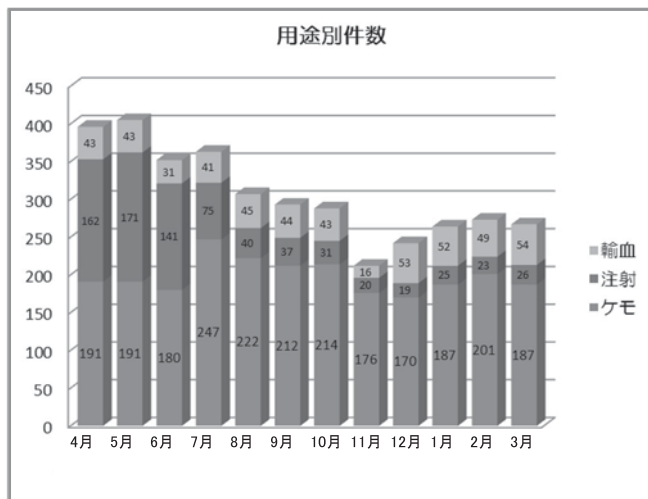
月	外(乳)	外(大腸)	外(胃)	外(肺)	外(他)	外科小計	肺内	血内	泌	耳	口外	脳外	膠	化療計
4月	49	52	21	7	1	130	14	38	2			4	3	191
5月	69	39	12	8		128	18	31	2	1	6	4	1	191
6月	48	44	8			100	21	41	3		10	3	2	180
7月	49	44	15	4	1	113	38	68	4		15	3	6	247
8月	41	49	19	9		118	29	52	2	1	12	1	7	222
9月	53	48	15	12	1	129	21	47	2		11		2	212
10月	44	50	27	8		129	21	53	2		4	1	4	214
11月	37	42	12	10	1	102	19	46	2	2	4		1	176
12月	49	33	10	12	4	108	11	39	2	5	4		1	170
1月	49	34	18	8		109	16	53		3		6		187
2月	51	35	20	8	2	116	11	67	1	2	1		3	201
3月	55	27	11	4	1	98	19	57	3	2	3	3	2	187
月平均						115								198
合計	594	497	188	90	11	1,380	238	592	25	16	70	19	38	2,378

月	リューブリン	ザラデックス	コナックス	フェプロデックス	ゾメタ	レキネド	ランマーク	注射計
4月	41	59	17	3	21	2	19	162
5月	55	51	15	4	21	1	24	171
6月	36	59	13	2	8	1	22	141
7月	22	24	7	5	7		10	75
8月	12	6	1	6	9		6	40
9月	6	7		10	3	2	9	37
10月	6	10		5	3		7	31
11月	9	3		2	2	1	3	20
12月	5	6		1	2		5	19
1月	4	9		2	2	1	7	25
2月	4	8		2	1	2	6	23
3月	5	6		4	3	1	7	26
月平均								64.2
合計	205	248	53	46	82	11	125	770

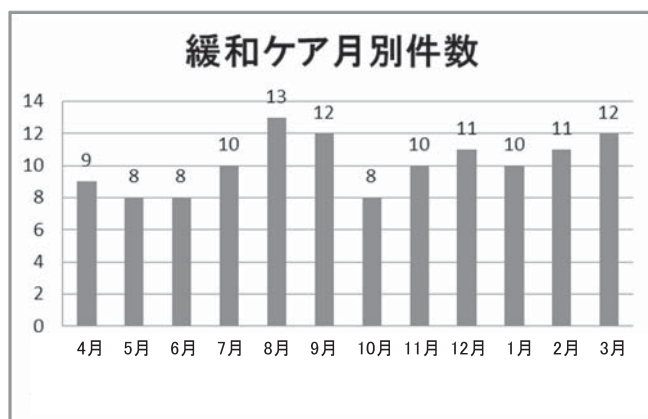
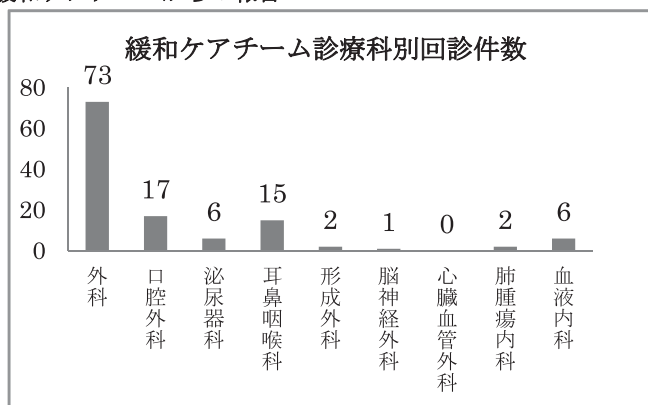
月	加算計	オリエンテーション	情報	自己抜去指導	ポート抜去	点滴	静筋皮下	輸血	合計
4月	353	12	31		9	1	1	43	450
5月	362	18	25	1	9			43	458
6月	321	19	27	5	6	1	1	31	411
7月	322	21	41		2	2	4	41	433
8月	262	21	18		3			45	349
9月	249	16	32		1	1		44	343
10月	245	13	32		3	1		43	337
11月	196	16	28					16	256
12月	189	12	30		1		1	53	286
1月	212	9	36		4			52	313
2月	224	20	23			1		49	317
3月	213	18	28		2			54	315
月平均	262							42.8	
合計	3,148	195	351	6	40	7	7	514	4,268

※加算計は化療計と注射計の合計値

※オリエンテーション：外来化学療法導入時の説明



## 緩和ケアチームからの報告



## 臨床研究状況（一部抜粋）

研究内容	予定被験者数
広範な乳管内進展を伴わない0-I期乳がんに対するラジオ波焼灼治療の安全性に関する第II相臨床試験	18
大腸癌術後補助化学療法におけるUFT/LV療法の服用方法に関する検討	10
転移・再発乳がんに対するアンスラサイクリン系薬剤とティーエスワンのランダム化比較試験	5
乳癌患者における臨床試験参加・辞退の生存予後調査(II)	10
HER2陰性が確認された切除不能進行・再発胃癌に対するCapecitabine+Cisplatin療法の安全性・有効性の検討~Phase II試験~	8
乳房腫瘍の超音波診断におけるカラードプラ法判定基準作成およびその有用性に関する多施設研究(JABTS BC-04)	30
肝胆膵領域悪性腫瘍に対する術後静脈血栓塞栓症予防に関するエノキサパリン投与の検討	8
EGFR陽性およびKRAS野生型の進行・再発の結腸・直腸癌に対するXELOX+Cetuximab併用療法の第II相試験	2
チロシンキナーゼ阻害剤治療により分子遺伝学的完全寛解(Complete Molecular Response;CMR)に到達している慢性期慢性骨髄性白血病患者を対象としたダサチニブ投与中止後の安全性と有効性を検討する臨床試験 Stop Dasatinib study《STDAST》	3
StageIIIの治療切除胃癌に対する術後補助化学療法としてのTS-1+Docetaxel 併用療法とTS-1単独療法のランダム化比較第III相	5
泉州地区におけるEGFR遺伝子変異あるいはALK遺伝子転座を有する進行非扁平上皮小細胞肺癌に関する実態調査	10
手術可能HER2陰性乳癌におけるTri-weekly nab-Paclitaxel followed by FEC術前化学療法 第II相臨床試験	6
肝胆膵外科手術後の表層および深部感染後の切開創治療における陰圧閉鎖療法(Negative Pressure Wound Therapy:NPWT)の有用性に関する前向き検討	5
大腸がん患者の血液中アミノ酸濃度およびアミノ酸関連代謝物濃度に関する臨床研究	20

## 委員構成

医師 (14名)	がん治療センター長兼外科主任部長	位藤 俊一
	救急診療部長兼脳神経センター長兼部長	森内 秀祐
	呼吸器センター長兼部長	桂 浩
	Acutecaresurgery 副センター長兼部長	山村 憲幸
	外科医長兼緩和ケアチームリーダー	西谷 暁子
	肺腫瘍内科部長	森山 あづさ
	膠原病内科部長	入交 重雄
	周産期センター産科医療センター長兼部長	荻田 和秀
	泌尿器科医長	森山 泰成
	耳鼻科部長	碓田 猛真
	血液内科科長	福島 健太郎
	歯科口腔外科部長	大前 政利
	中央放射線部長兼部長兼放射線治療センター長	櫻井 康介
	中央検査部長兼部長	今北 正美
看護師 (4名)	外来Eブロック	森 沙苗
	8階海側看護師長	射手矢 奈津子
	8階山側看護師長	高島 麻由美
	8階山側看護師	杉野 幸恵
薬剤師 (2名)	薬剤科部長	森朝 紀文
	薬剤科主査	中川 直樹
MSW (1名)	MSW	下村 恭子
事務 (3名)	地域医療連携室室長	中西 賢
	診療情報管理係長	末福 美恵子
	医事係	坂田 祐美子

【がん治療検討委員会風景】



【がん治療検討委員会風景】



【緩和ケア回診・カンファレンス風景】

